

令和5年9月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和5年9月1日（金） 11時00分～11時45分
場所 市役所2階 第3委員会室
出席 市政記者クラブ7社 12名

会見内容

1. 話題提供（3項目）

はじめに 暑さ対策について

- はじめに、涼しい釧路の暑かった夏についてです。
- 気象庁の公表データによると、7月の平均気温は平年値より3.9度高い20度で、8月の平均気温は平年値より3.6度高い21.8度でした。全国と比較すると低い気温ですが、釧路にとっては大変暑い夏となりました。
- 「猛暑日」や「真夏日」はないものの、最高気温が25度以上の「夏日」が7月と8月で24日間あり、昨年は19日であったため、現段階で昨年を越えている状況です。
- 特に8月が18日から11日間連続で夏日となり、8月24日には、暑さ指数が33以上になると予測され、釧路市を含む釧路根室地方に、この地域では初めてとなる熱中症警戒アラートが発表されました。
- この暑さの中で救急搬送された方は、7月で35名、8月が23名。7月は昨年とほぼ変わらない搬送数でしたが、8月は昨年の2名に比べ、大変多い状況でありました。
- 暑さ対策としては、熱中症対策の呼びかけを行っており、LINE、フェイスブックでの注意喚起等を行ってきました。
- 市内の小中学校については、北海道教育委員会の通知に基づき、暑さ指数が28を超えた場合は、体育などにおける激しい運動を中止し、10分から20分おきに休息をとり、水分補給をこまめに行っています。実際に7月と8月で4日間、暑さ指数が28を超えており、対応を行ってきました。
- 児童生徒には、水筒に水かお茶、スポーツドリンクや経口補水液などを入れて持参させ、こまめに水分補給をするよう指導しています。
- まだ、夏日は続きそうですが、今後も引き続き情報を速やかに伝え、児童生徒の健康を守ることを優先に対応していきます。

1 「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本（ATWS2023）」の開催について

- 話題のはじめは、アドベンチャートラベル・ワールドサミットについてです。
- 9月4日（月曜日）から10日（日曜日）まで「プレサミットアドベンチャー」が開催されます。
これは全国で開催され、22コースあります。そのうち主流となる北海道が15コース、釧路に関するコースが3コースとなっています。
- 釧路のコースでは、雌阿寒岳のトレッキングや阿寒湖フライフィッシング、釧路湿原の散策などが行われます。
- メインとなるサミットについては、9月11日（月曜日）から4日間札幌で開催されます。初日の9月11日は日帰りAT体験の「デイオブアドベンチャー」が開催されます。
12日（火曜日）から14日（木曜日）は商談会をメインに基調講演や分科会などが行われます。
- オープニングセレモニーが大会2日目の9月12日（火曜日）に大倉山で行われ、私もATWS北海道実行委員会の副会長として参加いたします。

- 次に「ポストサミットアドベンチャー」についてです。サミット閉会後の9月15日（金曜日）から18日（月曜日）までの期間で釧路地域を含む道内4地域（帯広市、旭川市、稚内市）で開催されます。
- 「ポストサミットアドベンチャー」はこれまでのアドベンチャートラベル・ワールドサミットの中で初めて開催されるものであり、大変期待をしています。
- 釧路で行うのは、雌阿寒岳トレッキング、アイヌ文化ガイドツアー、釧路湿原散策などのアクティビティ。また、猛禽類医学研究所にて、このエリアにおける自然環境の保護保全の取組を視察いただきます。
- このほか、ウェルカムパーティー（歓迎会）やフェアウェルパーティー（送別会）を予定しており、私も参加する予定です。
- この度の招請者は、アドベンチャートラベル・トレードアソシエーション（ATTA）において、優れた発信力のある方の中から厳選された8名のメディアの方々であり、180カ国、850万人の購読者を持つ「ナショナルジオグラフィック」での実績がある方などでありますので大変期待しています。
- プレサミット、本大会、ポストサミットという形で開かれるものであります。

2 「スマートフォン教室」の開催について

- 次にスマートフォン教室についてです。今年度もスマートフォン教室を実施いたします。
- 「スマートフォンの中に市役所がある」という基本理念のもと、釧路市デジタル・トランスフォーメーション推進方針を策定し、この中で釧路市公式LINEや公園のバーベキューコーナーのオンライン予約など、様々な取組を積極的に展開しており、今後も充実させていく予定です。
- 昨年度のスマートフォン教室の実績としましては、約1,200名の方にご参加いただき、アンケートでは「よくわかった」「わかった」といった回答が80%を超えています。また、スマートフォンをもっていなかった方の66%が「スマホを持ちたい」と答えていただいていますことから、このスマートフォン教室は大変意義があったものだと思っています。
- 今年度のスマートフォン教室は、9月30日（土曜日）の「まなぼつと幣舞」の会場を皮切りに、「コア鳥取」、「コア大空」、「コアかがやき」の計4つの会場で行います。一講座あたり10名で、合計360名という募集定員になります。
- 昨年度からの変更点としては、「スマートフォンをお持ちでない方」を対象とした講座と「持っていない方も不慣れな方」を対象とした講座とに分けまして、講座内容を明確にすることで、より受講しやすい環境にしました。これとは別にまなぼつと幣舞では応用講座を4回実施いたします。
- また、参加者から「土日に行って欲しい」という声もいただいたことから、講座を平日開催から土日開催にしました。
- アシスタントは、昨年度、参加者2名につき1名でサポートする体制で、若い世代として大学生がサポートを行ったことが大変好評でありましたことから、今年度も同じ体制でサポートします。また、子育て中の方も含めて採用していきます。
- 現在、受講の受付を開始しており、受付期間は8月28日から9月8日になります。申込方法や会場ごとの日程等の詳細については、釧路市ホームページや釧路市公式LINE、チラシの配布で案内している他、今日配布される広報くしろ9月号に掲載しています。
- 「スマートフォンの中に市役所がある」を目指して進めている釧路市DXを推進するため、ぜひ、みなさまにご参加いただければと考えています。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・暑さ対策について、先ほど話にありましたように釧路も暑い日が続きましたが、エアコンがない家庭も多い中、空調のある公共施設を開放する「クーリングシェルター」という取組があります。釧路市も設置する考えはありますか。

(市長)

- ・図書館は大変混雑していたところですが、防災庁舎は空調がありますが、本庁舎はない状況です。今後については検討していくことを考えています。異常気象は30年に1回程度と言われていましたが、雨の状況を見ても異常が常態化しています。苫小牧においては、各教室への対応を行ったところですが、釧路市は対策を講じていくため公共施設のエアコンだけではなく送風も含めて取りまとめをしているところです。いくつかの施設にはエアコンが必要だとイメージしていますが、まずは学校を何とかしたいと思っています。全国的な熱中症の課題があった時に、各学校にエアコンを整備する話があり、各学校に問い合わせましたところ、エアコンはいらないけれども、網戸が欲しいということでしたので、コロナ対応の際に網戸を設置しました。熱中症の課題があった時のような国の補助の仕組みについて、市長会と連携して進めていければと考えています。この対策については早急にまとめていきたいと考えています。

(質問)

- ・アドベンチャートラベルについて、釧路で迎えるにあたっての市長の思いをお聞かせください。また、議会の期間中と重なっていますが、市長はどの程度アテンドされるのでしょうか。

(市長)

- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットの北海道開催のきっかけが阿寒でありました。2015年の観光立国ショーケース選定の中で、こういったことを進めていくのか相談がある中、阿寒湖畔の阿寒観光協会まちづくり推進機構が2016年のアラスカで開催されたアドベンチャートラベル・ワールドサミットに出席され、翌年にシャノンCEOが釧路に来て阿寒を見ていただき、「自然と文化が豊かなこの地で開催を」というところからスタートしています。このことから大変うれしく思っています。日本全体の事ではありますが、釧路を中心としたひがし北海道に目を向けていただき、今回初となるポストサミットアドベンチャーを企画いただき、極めて影響力のある8名に来ていただけるということで、今まで取り組んできたことに高い評価をいただいたことを大変うれしく思っています。私たちはアドベンチャートラベルをゴールではなく、スタートにしていくという思いの中で取り組んでいますので、良い評価に結び付けていきたいと思っています。アテンドについては、私はウェルカムパーティーとフェアウェルパーティーに参加しますが、ツアーについては専門の方にしっかり対応いただきます。また、猛禽類の感電防止や、開発建設部で行っている交通事故防止などをまとめたパンフレットを日本語版と英語版で作成いたしましたので、活用しながら今まで行ってきたことや進めてきたことも出していきながら良い評価に結び付けていきたいと思っています。

(質問)

- ・アイスホッケーについて、先日アジアリーグを訪問し、今季の参戦は厳しいと改めて伝えられたことについて、市長の受け止めをお聞かせください。

(市長)

- ・このようなことになったことは非常に残念に思っています。今季はこのようなことになり

ましたが、来季に向けて進めていくことが重要と思っています。

(質問)

- ・何回か会合が開かれ、新しいチームか北海道ワイルズかどちらかの可能性を探っている中で、クレインズの協定見直しについては考えていますか。

(市長)

- ・東北北海道クレインズの代表と連絡が取れずに困っています。3月31日のスポンサーを対象にしたパーティーでお会いした時は来季に向けてというお話をされていましたが、それから今日まで連絡が取れていないことが実態であります。このまま連絡が取れないとなりますと信頼関係が失われますので、協定につきましても破棄や見直しを進めていくことが当然のことと思っています。私たちはプロのアイスホッケーチームを地域に残していきたいということで、色々なことを進めてきました。その思いは変わっていませんので、連盟も含め色々相談しているところです。

(質問)

- ・協定の判断について、期限を設けていますか。

(市長)

- ・包括連携協定について、全然連絡が取れませんので、内容証明の郵便を送りました。配達済みであることは確認が取れておりますので、早く連絡をいただければと思っています。

(質問)

- ・それはいつですか。

(市長)

- ・8月15日付で送り、相手方には18日に着いています。

(質問)

- ・内容はどのようなものになりますか。

(市長)

- ・包括連携協定の継続の確認についてです。

(質問)

- ・北海道ワイルズがアジアリーグの横浜GRITSとの練習試合の日程を発表しました。ひとまず試合を見ることができることについて、市長の受け止めをお聞かせください。

(市長)

- ・リーグとは異なりますが、横浜GRITSがこのような取り組みをしてくれることは、有難いと思っていますし、これがスポーツの素晴らしさと感じています。スポーツは好きだという気持ちで競技を行い、お互い高めあうことが大事であります。もちろん成績や収支などの現実がありますけれども、今回このように取り組んでいただいたことに感謝しています。

(質問)

- ・アジアリーグに連盟と訪問したときに、何を確認し伝えたのか、また今後どうしていくのかお聞かせいただきたい。

(市長)

- ・話としてはなかなかご理解いただけないところもあり、それを受け止めた中で、またクレインズからの回答の有無も踏まえた中で、連盟と方針を定め、またアジアリーグへ要請に行くことが必要と考えています。

(質問)

- ・選手がいる北海道ワイルズを今後支援していくという考えはありますか。

(市長)

- ・まず、釧路市にプロのアイスホッケーチームを残したいということが第一義としてあります。そこに向けて進めていくということですので、今の段階はどこのチームがというより

前になります。そこで、ワイルズで進めていくということになれば、来年に向けてなのでまだプロチームではありませんが、同じ形で支援していくことも考えています。

(質問)

- ・ どのような支援を考えていますか。

(市長)

- ・ 今までと同様のことと、中身はまだ聞いていませんが、担当部長からはそれ以上の何かという話も出ていました。

(質問)

- ・ ワイルズと会う予定はありますか。

(市長)

- ・ 私の方は会うことに問題ないという話はしています。予定が空いていればいつでも構いません。

(総合政策部次長)

- ・ 申し入れは来ています。

(質問)

- ・ 市として、ワイルズには来季に向けての支援をしていくということなのか、ワイルズも含めて支援の可能性を考えていくということなのか教えてください。

(市長)

- ・ そこが明確になっていませんので先ほどの言い方になりました。我々はプロチームを支援していこうと進めてきました。あわせて今季はプロチームがありませんので、来年のプロチームを目指すところに同様の支援をするという考え方です。今協定を結んでいるひがし北海道クレインズとは全く連絡が取れない状況であり、破棄などを念頭に進めているところですので、新たにアイスホッケー連盟と打ち合わせをし、方向性が決まれば一緒に努力していきたいと思っています。

(質問)

- ・ その方針は検討段階ということですか。

(市長)

- ・ アジアリーグの参戦に向けて12月末までに申請をしていくという方針は持っていますが、どのチームというところは連盟と相談して、アジアリーグに要請していきたいと思っています。

(質問)

- ・ 地元釧路にアイスホッケーチームが欲しいということと選手の気持ちをファーストに考えていきたいということを踏まえると現実的にワイルズ以外が出てくることは考えづらいということですか。

(市長)

- ・ 実際にはおっしゃる通りだと思います。その方向でアジアリーグに要請していくとイメージしておりますが、まだ確定はしていません。

(質問)

- ・ 先日のアジアリーグ訪問の報告で、今季は難しいということとワイルズの問題点や条件を聞かれたとのことですが、ワイルズの問題点や申請の条件は具体的にどのようなものでしたか。

(市長)

- ・ これはまさしくホームページに書かれたことだと思っています。私はこれに対し訂正を文書で求めました。ワイルズが行ってきたことがスポーツマンシップに反するという声明が出された件です。感情的な行動は慎むべきということであれば世の中にたくさんあることですが、様々なことがワイルズには問題だと書かれているに等しい内容です。会議の中ではその時の答申だという説明はありましたが、文書ではまだ何もいただけていません。

(質問)

- ・先ほどのアジアリーグ訪問の回答で、理解いただけないという回答がありましたが、今のところと関係していますか。

(市長)

- ・営業や収支など様々な背景があって成り立っていくことは重々理解しています。しかしながら、ひがし北海道クレインズの経過が色々あり、人が沢山絡んでいるものです。そのところでマルかバツかというような書かれ方はいかなものかと思っています。ですから訂正を求めたところです。もちろんプロリーグですから、背景が沢山あることはわかりませんが、子どもたちがアイスホッケーのプロの選手を目指しながら取り組んでいますので、その象徴がアジアリーグだと思います。この地域からアジアリーグに参戦できるような環境づくりに取り組み、お願いしていきたいと考えています。

(質問)

- ・「釧路市と連盟がワイルズを支援する」と明確に書かれた記事が出ていましたが、今の話を聞く限りでは、市は明確にワイルズを支援しているというわけではないという理解でよろしいですか。市長としてはプロチームを支援するという考えであり、選手ファーストで見るとワイルズが可能性としてあるだけで、明確にワイルズ支援の方針ではないという理解でよろしいですか。

(市長)

- ・ベースとなるのはプロチームということになります。あわせて現実的に選択肢はひがし北海道クレインズかワイルズの2つしかない状況です。その中で、ひがし北海道クレインズのトップと連絡が取れない状況であり、連絡が取れたとしても何事もなかったかのように考えることは難しい状況です。そういったことからワイルズになってくると思いますが、しかしながら、アイスホッケー連盟と相談し、方針を決めていくことが重要と考えています。最後の決定のところが、まだできていない実態ですので、早急に決めていきたいと思っています。

(質問)

- ・12月の申請時期までに明確に言えるようになるのはいつごろになりますか。

(市長)

- ・できるだけ早くしていきたいと考えています。

(質問)

- ・できるだけ早くワイルズに決定したいということですか。

(市長)

- ・申請の前でも、練習の会場など色々サポートできると考えています。

(質問)

- ・早い段階で支援の方向性が決まれば、支援できるということですか。

(市長)

- ・そういうことです。今連盟の皆さんと相談して進めているところです。今回アジアリーグにはうまく通じなかった状況ですけれども、そこを受けながら対策を決めていかなければなりませんし、言われたことを素直に受け入れる方法もありますが、しかしながら、我々の考え方もありますので、早急に進めていきたいと考えています。

(質問)

- ・先ほど、「早ければ早いほど」と発言がありましたが、時期的にどこで判断するかということになります。その時にクレインズとの関係になると思いますが、内容証明にはいつ頃の期日でどういう判断をすることになっていますか。

(市長)

- ・9月18日を期限にしています。

(質問)

- ・そこまでに返事がなければどうなりますか。

(スポーツ課長)

- ・到着から1か月以内に返事がなければ一方的に破棄できることとなっています。

(質問)

- ・その結果を受けて、連盟とどういった支援をしていくのか決めていくということですか。

(市長)

- ・今も相談は進めていますが、整理すべきことは整理しながらということになります。

(質問)

- ・コロナワクチンの接種について、夏休みやお盆時期があり、釧路でも感染者が増加傾向にありますので、市長がどのように受け止めているのかお聞かせください。また、資料を見る限り大規模接種会場はないということでしょうか。

(市長)

- ・5類になりましたので、コロナにかかわらず、インフルエンザも含めて注意していくこととなります。換気や消毒など日ごろから感染症対策をしっかり進めていくことが重要と思っています。これがまた、食中毒の予防などにつながっていきますので、しっかり進めていきます。

大規模接種会場については、今回はありません。それぞれの医療機関で予約して接種していくこととなります。